

ODYSSEY

HYBRID

P R E S S I N F O R M A T I O N



オデッセイの挑戦は、 異次元のステージへ。

1994年の誕生以来、乗用ミニバンの理想を追求し、
新しい価値の創造をつづける一台のクルマ。

その長い歴史のなかでも最もドラマティックな挑戦が、
いま結実のときを迎えました。

その名は、オデッセイ ハイブリッド。

搭載するのは、モーターを主役とする

Honda独自の2モーターハイブリッドシステム、
SPORT HYBRID i-MMD*。

めざしたのは、ミニバンの常識を超える驚異の燃費性能。

そのうえで、定評をいただいている

上質かつスポーティーな走りの実力は、

さらに大きく飛躍を果たしました。

もちろん、この進化はひろびろとした大空間を擁する、

オデッセイならではのユーティリティー価値を
損なうことなく実現。

Hondaの伝統ともいうべき

「マンマキシマム・メカミニマム」の思想をここでも貫き、

システム全体の軽量コンパクト化を

極限まで追求しています。

独創のメカニズムが、豊かなミニバン空間と

融合するとき、日本のミニバンが、

またひとつ新しい可能性の扉を開きます。

*i-MMD=Intelligent Multi-Mode Drive



ユーティリティー価値を活かして、燃費と走りを磨きぬくために。 Hondaの選択は、モーターが主役のハイブリッドシステム。

ミニバンにとって、ハイブリッドはいかにあるべきか。その問いかけに対するオデッセイの答えは、ハイブリッドミニバンの常識を超える低燃費と上質かつ爽快な走りを、このクルマの優れたユーティリティー価値を活かしたうえで実現することでした。明快なその目標を達成するために、ハイブリッドシステムの効率向上と小型軽量化を両立する進化した「SPORT HYBRID i-MMD」を開発。搭載にあたっては、リチウムイオンバッテリーを1列目シート下に組み込むなどの工夫を重ね、同時に車体部品をガソリン車と最大限共用することで、より多くの皆さまにご体感いただける、お求めいただきやすい価格も実現したオデッセイ ハイブリッド。これからの時代にふさわしい、ハイブリッドミニバンの新しい可能性が、いま走りをはじめます。



■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

クラス*トップの低燃費を達成。

エンジンを止めると、そのぶん燃料を節約できる。Hondaが開発したモーター主体のハイブリッドシステムは、そんなシンプルな発想から生まれたもの。このシステムを、ミニバンに最適化すべくさらに進化させた「SPORT HYBRID i-MMD」は、乗る人すべてを心地よいひとときで満たす、ラウンジのように豊かで広い空間を活かしたユーティリティー性能を持つオデッセイに、26.0km/Lというクラス*トップの低燃費をもたらしました。

* 7/8人乗り、1.8L以上のクラス、全高1,600mm以上のミニバン。2016年2月現在。Honda調べ。

ドラマティックに変わるミニバンの走り。

進化した「SPORT HYBRID i-MMD」のもうひとつの大きな魅力は、回転をはじめた瞬間から最大トルクを発生するモーターの特性を活かした力強い走り。オデッセイ ハイブリッドは、ミニバンの概念を覆す「オデッセイらしい走り」をハイブリッドでも実現するとともに、ロードノイズの低減やさらなる上質な乗り心地を追求しました。プレミアムミニバンにふさわしい、走るほどに高まる爽快な乗り味、大いなるドライビングの喜びをお約束します。

低燃費とダイナミックな走りを両立する独創の2モーター+エンジン。

進化したSPORT HYBRID i-MMD【1】

主役のモーターと、それを効率的にサポートするエンジン。

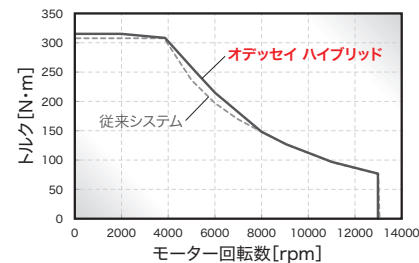
Hondaの誇る「SPORT HYBRID i-MMD」がさらに進化し、驚異の低燃費とともにオデッセイの走りのパフォーマンスを新しいステージへと引き上げます。

SPORT HYBRID i-MMD

①新開発 高性能モーター

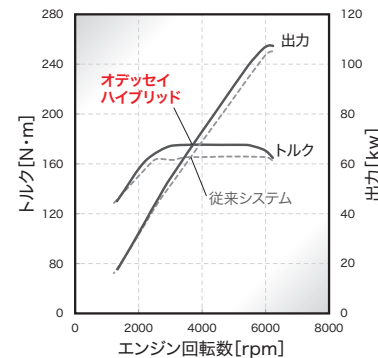
「SPORT HYBRID i-MMD」はモーターが主役。オデッセイ ハイブリッドでは新たにモーターの巻線方式や構造を見直すことで従来システム比約23%の小型軽量化と高トルク・高出力化を実現しています。革新的に進化したモーターにより、クラス*トップの低燃費と力強い加速を両立しました。

* 7/8人乗り、1.8L以上のクラス、全高1,600mm以上のミニバン。2016年2月現在。Honda調べ。



②2.0Lアトキンソンサイクル DOHC i-VTECエンジン

熱効率に優れたアトキンソンサイクルをHonda独創のVTEC（可変バルブタイミング・リフト機構）+VTC（連続可変バルブタイミング・コントロール機構）で実現した2.0Lアトキンソンサイクル DOHC i-VTECエンジンをミニバンに最適化するとともに、さらなる高出力化を図りました。



③エンジン直結クラッチ

高速クルージング時にエンジンの出力軸を車輪へ直結するエンジン直結クラッチ。アトキンソンサイクルでの高効率運転を最大限に活かすこの機構は、従来システムよりも許容重量上限をアップし、さらにエンジンの高出力化にも対応しています。

〈走行用モーター〉

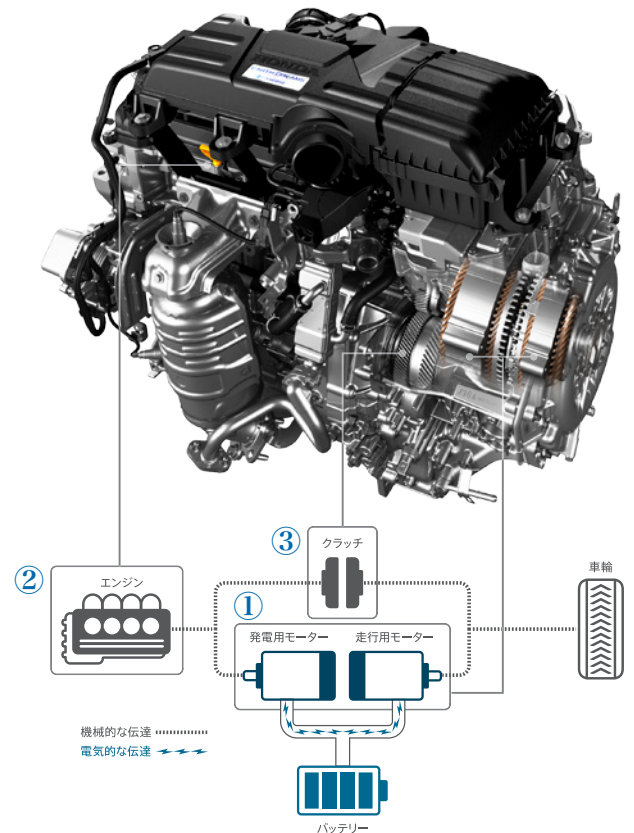
最高出力 135kW[184PS]/5,000-6,000rpm

最大トルク 315N・m[32.1kgf・m]/0-2,000rpm

〈エンジン〉

最高出力 107kW[145PS]/6,200rpm

最大トルク 175N・m[17.8kgf・m]/4,000rpm



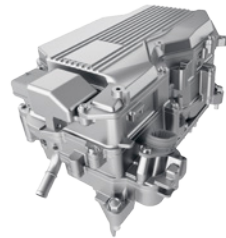
ミニバン空間のゆとりと使いやすさをそのままに、小型軽量化を徹底追求。

進化したSPORT HYBRID i-MMD【2】

オデッセイならではのユーティリティ価値を最大限に活かすために、
進化した「SPORT HYBRID i-MMD」は、システムを構成するメカニズムのひとつひとつを小型軽量化。
さらに、搭載する場所や方法にも工夫を凝らしています。

①PCU (Power Control Unit)

2つのモーターをコントロールし、電圧や電流を自在に操る「SPORT HYBRID i-MMD」の頭脳であるPCUは、パワー半導体やECUの高密度化により小型化を実現。トランスミッション上にコンパクトに搭載しました。



②IPU (Intelligent Power Unit)

小型化したリチウムイオンバッテリーと制御用ECUなどをコンパクトにレイアウト。そのIPUを1列目シート床下に収めることで、オデッセイならではの豊かなミニバン空間とドラマティックなハイブリッドの走りを両立しました。

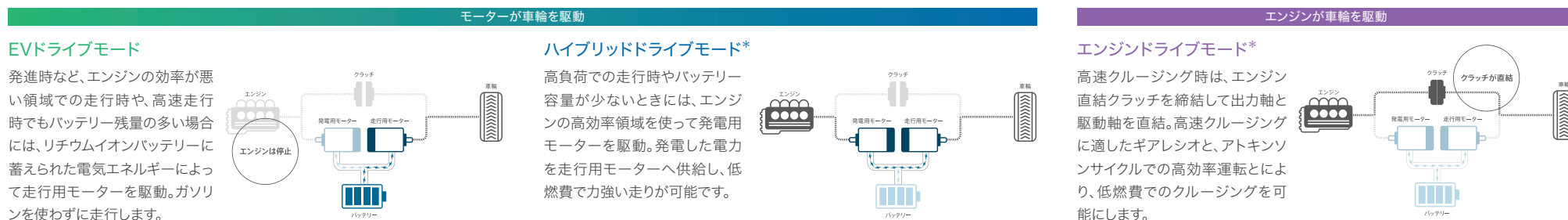


※写真は説明のため合成したものです。

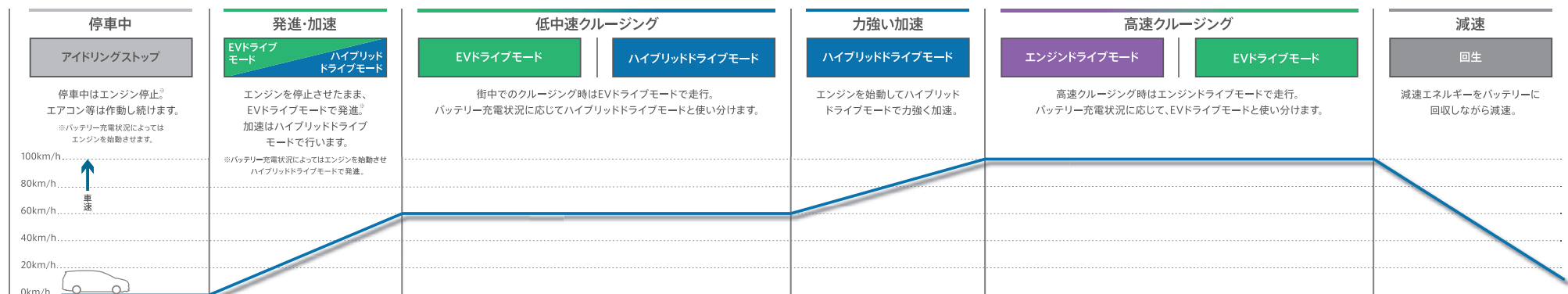
エンジン、モーター、バッテリーを理想的に使い分けて、 3つのドライブモードを最適制御。

モーターによる駆動を基本としながら、必要に応じてエンジンを始動する「SPORT HYBRID i-MMD」。
走行状況やドライバーの意志を考慮してエンジン/モーター/バッテリー等を制御し、3つのドライブモードから最適なものを選択。
乗用域から高速クルージング、スポーティーな走行領域まで、低燃費かつ爽快なドライビングをお楽しみいただけます。

■走行モード詳細説明図



■SPORT HYBRID i-MMDによる走行イメージ



よりスポーティーな走りをもたらすSレンジ

オデッセイ ハイブリッドは、「SPORT HYBRID i-MMD」に2つの走行レンジを切り替えられるシステムを搭載。アクセル操作に応じたリニアな走りをもたらすDレンジに加え、Sレンジではより力強いトルク感とスポーティーな応答性を実現しています。

電動サーボブレーキシステム

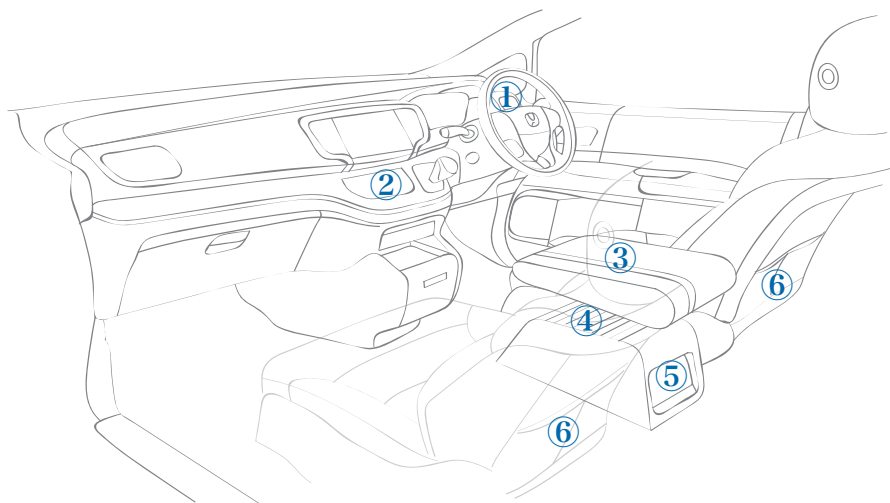
より多くのエネルギー回収と上質なブレーキフィールを両立する電動サーボブレーキシステム。オデッセイ ハイブリッドはこれをさらに進化させ、モーターとギアボックスの小型軽量化、ブレーキ回生量の向上などを実現しています。

EVドライブを優先させるEVスイッチ

ONにするとバッテリーからの電力を使いモーターだけで走行。エンジン音を出したくない時などに便利です。

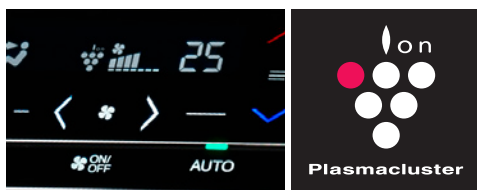
※バッテリー残量やエアコン作動状況などによってEV走行できない場合もあります。

Interior ハイブリッドカーならではの装備も加えて、
さらに上質かつ機能的に進化したゆとりと先進のキャビンスペース。



①HYBRID専用メーター

[オデッセイ ハイブリッド全タイプ]
スポーティーかつクリーンなイメージの専用カラーに
輝く、オデッセイ ハイブリッドだけのメーターです。



②プラズマクラスター技術搭載エアコンディショナー

[オデッセイ ハイブリッド全タイプ]
エアコンまたは送風に連動して作動し、
空気浄化や脱臭などの効果*を發揮します。

※シャープ株式会社のプラズマクラスター技術を搭載しています。
* 車内の状況や個人差により効果の程度が異なる場合があります。



●後席用静電タッチ式リア・エアコンディショナー・
コントロールパネル

[タイプ別設定]
2列目シート上の天井部に、
エアコンディショナー・コントロールパネルを
設置しています。



③1列目シート大型アームレスト(角度調節式)

[タイプ別設定]
高級感のあるゆったりサイズのアームレストが、
オデッセイ ハイブリッドの快適性を高めます。



④センターコンソールボックス

[タイプ別設定]
1列目シート間に設置した収納に便利な
センターコンソールボックス。
使いやすいシャッターも備えています。



⑤100V AC電源(1500W)
〈センターコンソールボックス後部〉

[タイプ別設定]
車内やアウトドアでの家電機器使用も可能な
100V1500W電源を搭載。
緊急時の電源としても活躍が期待できます。
※定格消費電力1500W以下の電気機器でも
正常に作動しない場合があります。



⑥運転席/助手席シートバックポケット(2分割式)

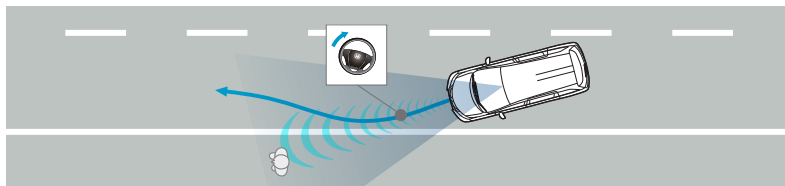
[オデッセイ ハイブリッド全タイプ]
フロント両席のシートバックポケットを、
より使い勝手のいい2分割式としています。

Honda SENSING 先進の安全運転支援システム。

[タイプ別設定]

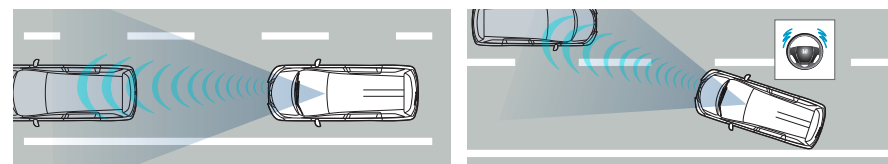
歩行者事故低減ステアリング

約10km/h～40km/hで走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音と表示で警告。ステアリングも制御して回避操作を支援します。



衝突軽減ブレーキ〈CMBS*1〉

雨・霧・夜でも遠方までの距離測定に強いミリ波レーダーと形状認識に強い単眼カメラにより、車両や歩行者を検知し、衝突の危険がある場合にマルチインフォメーション・ディスプレイの表示やブザーで警告。緊急時には、自動で強いブレーキをかけて衝突回避・被害軽減を図ります。

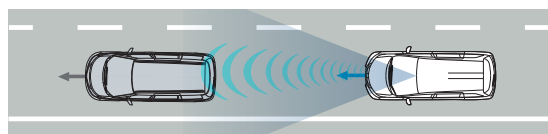


前走車との衝突回避を自動ブレーキで支援。約5km/h以上の幅広い速度域で作動。

対向車の場合は、ステアリングの振動などの警報も作動します。

ACC〈アダプティブ・クルーズ・コントロール〉

アクセルペダルを踏まずに設定した車速を保つクルーズコントロールに、前走車を検知する機能を追加。高速道路などで車速と車間を適切に制御します。



設定車速内で加減速し、前走車を自動追従。

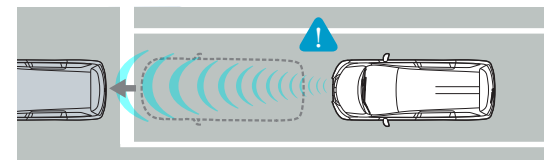
誤発進抑制機能

前方に障害物があるにも関わらずアクセルを強く踏み込んだ際、急発進を防止します。



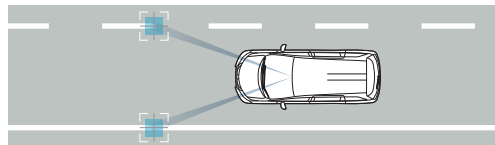
先行車発進お知らせ機能

前のクルマが発進したことを、ブザーとマルチインフォメーション・ディスプレイの表示でお知らせします。



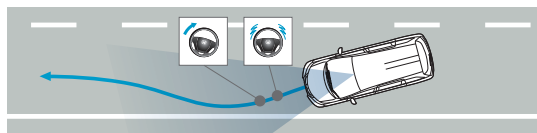
LKAS*2〈車線維持支援システム〉

高速道路など、中・高速走行時、単眼カメラで車線を捉え、車線の中央に沿って走れるようステアリング操作をアシスト。車線を外れそうな際には、マルチインフォメーション・ディスプレイの表示とステアリング振動で注意を喚起します。



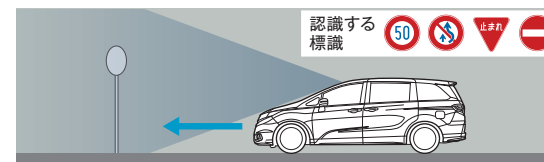
路外逸脱抑制機能

車線を外れそうな際、マルチインフォメーション・ディスプレイの表示とステアリング振動で警告し、さらにクルマを車線内へ戻すようにステアリングを制御。また逸脱量が大きいと予測される際はブレーキも併用して、逸脱しないように支援します。



標識認識機能

走行中に道路標識を認識してマルチインフォメーション・ディスプレイに表示し、安全運転を支援します。



■各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～40km/hで走行中に、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測した場合に、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときにシステムが判断した場合、ウィンカーを作動させている場合は作動しません。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある前走車両や歩行者、または対向車両(二輪車や自転車等を除く)に対して衝突する可能性があるときにシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対向車両(二輪車や自転車等を除く)と歩行者に対しては、自車が約80km/h以下で走行中の場合に作動します。■ACCは、約30km/h～約100km/hで作動します。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面の近距離に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止するとともに、音と表示で接近を知らせます。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■LKAS(車線維持支援システム)は、約65km/h～約100km/hで作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているときにシステムが判断した場合、ウィンカーを作動させている場合は作動しません。■路外逸脱抑制機能は約60km/h～約100km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときにシステムが判断した場合、ウィンカーを作動させている場合は作動しません。■標識認識機能は最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の標識を認識し、マルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で作動します。自車の単眼カメラから見て、車両等の陰になった道路標識は認識することができません。

*1 CMBS=Collision Mitigation Brake System(衝突軽減ブレーキ) *2 LKAS=Lane Keep Assist System(車線維持支援システム)

革新のパワートレインを、2つの個性に載せて。



HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING



HYBRID



Photo:HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING(7人乗り) ボディカラーはホワイトオーキッド・パール
左右の写真のインテリアカラーはブラック フロアカーペットマット(プレミアムタイプ)、オーディオホールリッドはディーラーオプション



Photo:HYBRID(8人乗り) ボディカラーはホワイトオーキッド・パール
左右の写真のインテリアカラーはブラック フロアカーペットマット(プレミアムタイプ)、オーディオホールリッドはディーラーオプション

オデッセイ ハイブリッドは2タイプをご用意

HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING

[主要装備(HYBRIDの装備に加えて)]●Honda SENSING●コンビシート(プライムスムース×ファブリック)●運転席8ウェイパワーシート●HYBRID ABSOLUTE専用デザイン17インチアルミホイール など

HYBRID

[主要装備]●1列目シート用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム●ナビ装着用スペシャルパッケージ+ETC車載器●ハイブリッド専用ヘッドライトサブフレクター(ブルー)●フォグライトリング(ブルー)●ハイブリッド専用リアコンビネーションランプ など

+

さらに、選べる2つのパッケージ

Advanced Package

[主要装備]●Honda SENSING<HYBRID>●Honda インターナビ+リンクアップフリー●マルチビューカメラシステム●Hondaスマートパーキングアシストシステム など

or

EX Package

[主要装備]●Honda SENSING<HYBRID>●LEDアクティブコーナリングライト●ブラインドスポットインフォメーション●トリプルゾーンコントロール・フルオートエアコンディショナー●運転席8ウェイパワーシート<HYBRID>●運転席大型アームレスト(角度調節式)●センターコンソールボックス など

主要諸元

タイプ	2.0L DOHC i-VTEC+i-MMD		2.0L DOHC i-VTEC+i-MMD	
	HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING/ HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING Advancedパッケージ/ HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING EXパッケージ*		HYBRID/ HYBRID・Advancedパッケージ/ HYBRID・EXパッケージ*	
	FF		FF	
駆動方式	FF		FF	
乗車定員	7名	8名	7名	8名
車名・型式	ホンダ・DAA-RC4			
トランスミッション	—			
全長(m)	4.830			
全幅(m)	1.820			
全高(m)	1.685		1.695	
ホイールベース(m)	2.900			
トレッド(m) 前/後	1.560/1.560			
最低地上高(m)	0.140		0.150	
車両重量(kg)	1,880*2	1,820*3	1,860*4	1,810*5
最大車両重量(kg)※	1,880*6	1,820*7	1,860*8	1,810*9
客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ	2.935/1.625/1.305(リアエンターテインメントシステム装着車は1.300)			
原動機型式	LFA-H4			
エンジン	LFA			
エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置			
弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2			
総排気量(L)	1.993			
内径×行程(mm)	81.0×96.7			
圧縮比	13.0			
燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)			
使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン			
燃料タンク容量(L)	55			
電動機	H4			
電動機型式(モーター)	交流同期電動機			
エンジン	最高出力(kW [PS]/rpm)	107[145]/6,200		
	最大トルク(N・m [kgf・m]/rpm)	175[17.8]/4,000		
電動機	最高出力(kW [PS]/rpm)	135[184]/5,000-6,000		
電動機型式(モーター)	最大トルク(N・m [kgf・m]/rpm)	315[32.1]/0-2,000		
燃料消費率(km/L)	24.4	25.2	26.0*10	26.0
JC08モード走行(国土交通省審査値)	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング			
主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング			
最小回転半径(m)	5.4			
動力用主電池 種類/個数	リチウムイオン電池/72			
変速比	前進	—		
	後退	—		
減速比	第一:2.454(電動機駆動)0.805(内燃機関駆動)第二:3.888			
ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)			
タイヤ(前・後)	215/60R16 95H	—	—	●
	215/55R17 94V	●	—	—
主ブレーキの種類・形式(前/後)	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク(ドラム駐車ブレーキ内蔵)			
サスペンション方式(前/後)	マクファーソン式/車軸式			
スタビライザー形式	前	—		
	後	—		

- *1 HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING EXパッケージ、HYBRID・EXパッケージはFF/7人乗りのみとなります。
 - *2 HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING EXパッケージは1,900。
 - *3 HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING Advancedパッケージは1,830。
 - *4 HYBRID・Advancedパッケージは1,870、HYBRID・EXパッケージは1,890。
 - *5 HYBRID・Advancedパッケージは1,820。
 - *6 HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING Advancedパッケージは1,890、HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING EXパッケージは1,910。
 - *7 HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING Advancedパッケージは1,840。
 - *8 HYBRID・Advancedパッケージは1,880、HYBRID・EXパッケージは1,900。
 - *9 HYBRID・Advancedパッケージは1,820。
 - *10 HYBRID・EXパッケージまたはリアエンターテインメントシステムを装着したHYBRID・Advancedパッケージは25.4。
- ※メーカーオプションを組み合わせて装着した場合の最大車両重量です。
- 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
- ☆印の車両は、自動車取得税、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(取得税は2017年3月31日まで、重量税は2017年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2016年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。)
- 主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。
- ODYSSEY、ABSOLUTE、Honda SENSING、LKAS、PGM-FI、SPORT HYBRID i-MMD、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。
- ブラズマクラスターマークおよびブラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。
- 製造事業者: 本田技研工業株式会社

環境性能

「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

「平成32年度燃費基準+20%達成車」



※オデッセイ ハイブリッド全タイプ



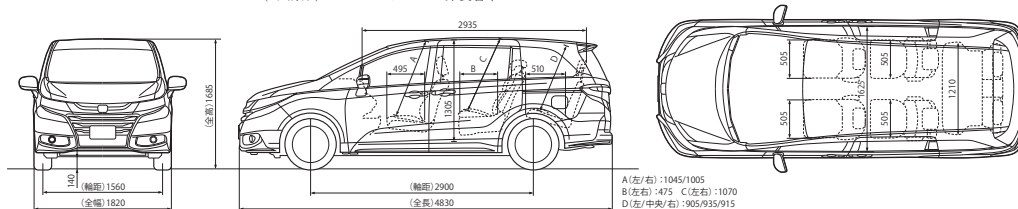
※オデッセイ ハイブリッド全タイプ

環境仕様

基礎情報		DAA-RC4			
車両型式	型式	LFA-H4			
	総排気量(L)	1.993			
駆動装置	駆動方式	FF			
	変速機	—			
燃料消費率	燃費(km/L)*1	26.0	25.4	25.2	24.4
	CO ₂ 排出量(g/km)(燃費からの換算値)	89.3	91.4	92.1	95.2
排出ガス	参考	平成32年度燃費基準+20%達成車			
	適合規制・認定レベル	平成17年排出ガス基準75%低減			
	JC08H+JC08Cモード CO	1.15			
	認定基準値 NMHC	0.013			
	(単位:g/km) NO _x	0.013			
環境性能情報	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合			
	適合騒音規制レベル	平成11年騒音規制 規制値:加速走行76dB(A)			
エアコン冷媒	種類/GWP値*2	HFC-134a/1430*3			
	使用量	750g			
車室内VOC	鉛	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)			
	水銀	自工会目標達成(1996年使用量*4の1/10)			
環境負荷物質削減	六価クロム	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*5)			
	カドミウム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
	樹脂、ゴム部品への材料表示	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て			
環境への取り組み	リサイクル	リサイクルし易い材料*6を使用した部品	バンパーフェースなどの内外装部品		
		再生材を使用している部品	エアアウトレット、エアコンダクト、バッテリーカバー、バッテリーボックス		
		リサイクル可能率	車全体で95%以上*7		
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車			

- *1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 - *2 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数)
 - *3 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。
 - *4 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。
 - *5 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。
 - *6 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。
 - *7 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。
- ※この環境仕様書は2016年1月現在のものです。

■寸法イメージ図 単位:mm
HYBRID ABSOLUTE・Honda SENSING(7人乗り) メーカーオプション非装着車



A(左/右):1045/1005
B(左/右):1475 C(左/右):1070
D(左/中/右):905/935/915